

**令和6年度
公益社団法人創玄書道会事業報告**

公益目的事業

第1 書道に関する展覧会の開催等

事業名	時期及び場所	事業実績
<p>第60回記念創玄展 特別展示 「創玄を牽引した 13人の書」</p>	<p>3月7日～3月17日 国立新美術館 東京都美術館</p> <p>3月9日表彰式 ザ・プリンスパークタワー東京</p> <p>3月10日記念祝賀会 ザ・プリンスパークタワー東京</p>	<p><創玄展> 広く全国より公募した準会員及び二科6,047点の作品の中から、本会審査会員によって鑑別・審査を受けて選抜された3,736点と正会員1,442点の合計5,178点を国立新美術館と東京都美術館に展示した。入場無料。</p> <p>特別賞の選考には外部より文化功労者・宮田亮平氏、全日本書道連盟副理事長・仲川恭司氏を招聘した。</p> <p>入場者41,778人。ボランティア協力者延べ940人。</p> <p>*顕彰*</p> <p>文部科学大臣賞 鈴木大有 金子鷗亭記念賞 種家杉晃 21世紀賞 荒谷大丘、小島秋聲、吉澤赫嘩 東京都知事賞 岡由香里 理事長賞 大塚雅恵、下村美穂、八木龍舟、渡辺美鴻 創玄展大賞 與名本秋園 創玄展準大賞 浅見紫響、阿部 寧、荒金和佳子、池辺泛舟、石川桃露、市来みち子、今井芝香、大木美佳恵、河崎真理子、黒岩三溪、清水貴彦、鈴木華芳、鈴木青嶺、鈴木青麗、堤 養真、戸口春静、中村瑛華、西川草園、丹羽彩霞、濱波裕介、前原葉陽、吉田理江</p> <p>第60回記念賞 25名 創玄書道会賞 井上直樹、岩崎 心、秦ひとみ、古里 航 毎日新聞社賞 大谷蘇志、川畑観人、古和田香風、今野美生、松村 妙子</p> <p>以下 特選89名・秀逸582名・二科賞241名・準二科賞484名</p> <p><作品解説会> 9日間に亘り、本会一科審査会員による17回の展示作品解説を行った。4部門すべてに作品鑑賞の機会を開いた。一般参加者約650人。聴講無料。</p> <p><席上揮毫会> 新型コロナウイルスの影響による中止期間を含めた文部科学大臣賞受賞者3名による作品揮毫会を会期中1回東京都美術館会場内にて行い、作品鑑賞を深める機会を開いた。一般参加者約90人。入場無料。</p> <p><特別展示「創玄を牽引した13人の書」>第60回展を記念して、創設者で文化勲章受章者・金子鷗亭氏と文化功労者・大平山濤氏をはじめ、本会を力強く牽引した物故理事長・副理事長を中心とした幹部13人の作品42点を国立新美術館会場に展示した。</p> <p><功労者賞表彰> 3月9日国立新美術館での総会終了後、長きにわたって本会の活動に協力されている満90歳以上の一科審査会員(役員と過去の表彰経験者を除く)9名を表彰し、記念品を贈った。</p> <p><記念祝賀会> 3月10日ザ・プリンスパークタワー東京において来賓136名、会員601名の出席により開催した。</p>
<p>併催 学生部門 全国学生書道展</p>	<p>3月9日～3月14日 東京都美術館</p>	<p><全国学生書道展> 広く全国より公募した小学校入学前の幼児から高校生までの10,143人、19,828点の作品の中から、本会審査会員によって鑑別・審査を受けて選抜された5,164点の作品を展示した。入場無料。</p>

事業名	時期及び場所	事業実績
	3月10日表彰式 東京都美術館講堂	特別賞の選考には外部より文部科学省教科調査官・豊口和士氏を招聘した。 入場者 18,764 人。ボランティア協力者延べ 320 人。 ＊顕彰＊ 優秀団体賞 墨點社書の教室 ほか 66 団体 文部科学大臣賞 谷島愛梨 東京都知事賞 狐塚憲汰、鈴木 凜 大賞 穴澤亮祐、池田灯花、櫻井乃梨、下河美葵、菅原美桜、田原弘貴、野口愛莉、本郷和奏、三浦璃花子 東京都教育委員会賞 小島ゆりか、曾原陽菜、野宮悠希、濱田朝陽、山越 蒼 以下 第 60 回記念賞 10 名・毎日新聞社賞 66 名・金剛峯寺賞 36 名・学年優秀賞 411 名ほか 9,603 名 <作品解説会> 本会一科審査会員による展示作品解説を 1 回行った。一般参加者約 70 人。聴講無料。
第 50 回 創玄現代書展	10月29日～11月3日 セントラルミュージアム銀座 11月2日表彰式 東京プリンスホテル	最高顧問、顧問、名誉会長、会長、副会長、理事、監事、評議員、一科審査会員、二科審査会員中より推薦された作品 62 点と、審査会員及び創玄展一科または毎日展入賞経験のある出品資格者により応募された作品 1,465 点から、選抜された入選作品 100 点を展示した。 選考委員 遠藤 疆、大多和玉祥、千葉和子 入場者 1,699 人。入場無料。 ＊顕彰＊ 白鷗賞 小野寺响芳、金屋好一、坂本千陽、佐藤清芳、富岡葵香、中野新雪、橋本侑馬、福川 翠、藤田以津子 <作品解説会> 選考委員による展示作品解説を 3 回行い、会場内にて作品鑑賞の機会を開いた。一般参加者約 150 人。聴講無料。
第 61 回 全国競書大会	11月14日 審査会 創玄会館	<一般部> 広く全国より公募した 7,002 点の作品の中から、本会審査会員によって優秀な作品を選抜した。成績を本会ホームページにて発表し、特に優秀な 46 点の作品を本会ホームページおよび「創玄会報 135 号」に掲載。 <学生部> 広く全国より公募した小学校入学前の幼児から高校生までの作品 22,710 点の作品の中から、本会審査会員によって優秀な作品を選抜した。成績を本会ホームページにて発表し、特に優秀な 111 点の作品を本会ホームページおよび「創玄会報 135 号」に掲載。 ＊顕彰＊ 最優秀団体賞 隆玄書道会 団体特別賞 大琳書道会ほか 24 団体 優秀団体賞 流生会ほか 35 団体 <一般部> 東京都知事賞 村田涼葉 創玄書道会賞 石橋江瑤、糸川奈央、片山天舞、川上武士、高橋葉月、滝本愛子、渡邊紅蘿 以下 大会会長賞 10 名・毎日新聞社賞 18 名・金剛峯寺賞 10 名ほか 2,347 名 <学生部> 東京都知事賞 曾我くらら 創玄書道会賞 安藤遙香、石谷大和、氏家 新、大島 凜、川田ひより、岸元笑多朗、志賀心美、田村彩華、橋場玲奈

事業名	時期及び場所	事業実績
		東京都教育委員会賞 大野清桜、小暮碧月、三鈷莉乃愛、土屋歌穂 以下 大会会長賞 14名・毎日新聞社賞 58名・金剛峯寺賞 25名ほか 9,676名
第75回 毎日書道展協力	7月10日～8月4日 国立新美術館 東京都美術館	総出品点数 26,723点のうち 6,576点出品。本会会員から運営委員、審査員、作品解説など係員として多数運営に協力。 ボランティア協力者約 150名 主催:毎日新聞社・(一財)毎日書道会
第42回 日本詩文書作家協会書展協力	6月4日～6月9日 セントラルミュージアム銀座	総出品点数284点のうち146点出品。本会会員から役員、事務局員など係員として多数運営に協力。 主催:日本詩文書作家協会
第11回 日展協力	11月1日～11月24日 国立新美術館	第5科公募出品点数8,662点のうち720点出品。本会会員から、審査、会場当番など係員として運営に協力。 主催:公益社団法人日展
第43回 北海道創玄展後援	5月29日～6月2日 札幌市民ギャラリー	会場の都合で陳列されない創玄展二科出品者の入選入賞作品を展示するため186点に助成した。 主催:北海道創玄
北海道松前町への 助成	12月	「書のまちづくり」に取り組む松前町の書道文化の振興と発展に寄与するため60万円を寄付した。 松前郡松前町
第18回「金子鷗亭記念松前町児童生徒書初め席書大会」への後援	1月12日 松前町民体育館	金子鷗亭先生の故郷である北海道松前町で開催。町内の小学生から高校生までが参加。「金子鷗亭賞」の付与と副賞を寄贈した。 金子鷗亭賞 堀川真歩 主催:文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会
正会員が主催する事業への後援	通年	全国の正会員が行う展覧会、講習会等に対し、50件の後援を行った。祝電および案内用の宛名ラベルを原価提供により34件協力した。
優良図書の購入	7月	毎日書道展特別展示「墨魂の群像—毎日の書48人」の図録を630冊購入し、二科審査会員以上に優良図書として贈呈した。

第2 書道に関する講習会等の開催

事業名	時期及び場所	事業実績
第62回 創玄書道会 全国夏期書道研究会	7月27日～7月30日 熱海市 金城館	本会役員が講師となり、現代の書作品の鑑賞及び作品制作の研究を3泊4日で開催した。教員及び書道指導者など142名が参加。
第43回 古典研究会	11月30日～12月1日 大田区産業プラザ PiO	本会役員の講義と実技指導により、古典への理解を深めるための研究会を開催。本会講師による講演を行った。196名参加。 課題 「顔氏家廟碑」講師・福田鷲峰 「自叙帖」講師・室井玄聳 「元永本古今集」講師・千葉和子 講話 「書道史から見た中国史」講師・加藤 裕

事業名	時期及び場所	事業実績
令和6年度松前町 第12回「金子鷗亭記 念書道パフォーマンス」	5月11日 松前町町民総合センター	鷗亭先生の故郷である松前町で開催。道南の高校10校及び松前中学校、松城小学校が参加。書道文化の普及と「書の町松前」の周知を図ることに賛同し、後援と講師派遣を行った。 主催:文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会

第3 書道文化の普及振興及び広報

事業名	時期及び場所	事業実績
会報「創玄」133号	6月2日発行	5,520冊発行。正会員、準会員へ配布を行い、関係団体へ贈呈。一般へ4冊販売。
会報「創玄」134号	9月12日発行	5,550冊発行、正会員、準会員へ配布を行い、関係団体へ贈呈。一般へ4冊販売。
創玄書道会60年の あゆみ	2月9日発行	第60回創玄展を記念して2,700冊発行、正会員へ配布を行い、関係団体へ贈呈。一般へ685冊販売。
第60回 創玄展名鑑	3月7日発行	1,400冊発行、正会員、準会員の希望者へ1,163冊の配布を行い、一般入場者へ24冊販売。
第60回 創玄展作品集	5月27日発行	2,010冊発行、正会員へ配布を行い、準会員及び不特定多数の書道愛好者へ448冊販売。国立新美術館、函館美術館等へ寄贈。
第50回 創玄現代書展作品集	10月29日発行	1,400冊発行、出品者へ配布を行い、会員及び一般入場者へ404冊販売。他団体の関係者へ贈呈。
創玄会館内「金子鷗亭 記念ギャラリー」展示と 管理	通年 創玄会館3階	記念事業等による事務局繁忙のため休止していた開放を10月25日より再開。祝日を除いた第1～第4金曜日の13:00～16:00に開放している。入場者1名。 閲覧室に本年度受け入れた書籍17冊。
創玄会館内「多目的ホ ール」の貸与と管理	通年 創玄会館2階	書道研究会、講習会、会議に31団体利用。
インターネット事業	通年	公益社団法人として必要とされる資料、資産等を公示した。広報においては毎月「創玄だより」を発信。本会が主催・協賛・後援等を行う展覧会情報を掲載した。また、創始者金子鷗亭や本会に所属する作家の作品および映像資料等を紹介した。

第4 その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 令和6年能登半島地震で被災した正会員2名に対し、20万円のお見舞金を贈った。
- (2) 公益社団法人日展の事業を支援するため、日展パートナーズ賛助制度（寄附制度）を継続した。
- (3) 公益社団法人全日本書道連盟の事業を支援するため、維持団体として加入を継続した。